

令和7年度江別市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

1) 地域の作物作付状況

江別市は、石狩平野の中央に位置した平坦な地勢で札幌や新千歳空港などの多様な販売拠点や本州との迅速な輸送が可能となる空港にも近い。また、市内には石狩川や千歳川など河川に恵まれ世界有数の平地原生林である野幌森林公園があるなど自然環境にも恵まれている。

当市の農業の主要な作物である、水稻、小麦、大豆、てん菜などの基幹作物に加え野菜や花卉・果樹さらには酪農・畜産等多岐にわたり経営の安定化に寄与する高収益作物への取り組みや加工等の6次産業化など多角的に経営を営んでいる生産者も多い。

今後も、当市の農業経営の発展のために多様な作物への需要に柔軟に対応しながら生産する必要性がある。さらに、水田を含めたブロックローテーションにより輪作体系の確立を重視している。

2) 地域が抱える問題

地域における生産者の高齢化や後継者不足に伴う農家戸数の減少により生産者1人あたりの面積は増加傾向にある。今後、農地中間管理事業等を活用しながら担い手に集約する他に新規就農者の参入を引き続き促したい。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

現在の状況としては、地域において収益力の高い水田農業経営を行うためには、土質や輪作体系に配慮した作付体系を確立・維持しながら新しい需要に応じた生産に配慮するとともに価値向上のために需要や地域に適した高収益作物の推奨や低コスト及び省力化の取組を推進する必要性がある。さらに、高値で販売できる有利販売や地産地消、地場産業への供給に対応しながら、環境に配慮した農業やSDGsの趣旨を踏まえた長期間での収益性の高い持続可能な農業経営の実現も目指す。

これらのことを具現化する方策としては、水田農業高収益化推進プロジェクトチームを設置し、その会議内容の中から地域での課題を抽出し関係機関の協力を得ながら、本ビジョンの推進計画のPDCAサイクルの中で調査や分析を行い他の補助事業を活用し問題解決や計画の実行を遂行するものである。

その一方で、高収益作物の中で、加工業務用や輸出の取組を行うなど新たな市場の開拓の動きが広がりつつあり、それに伴いGAPを取得する生産者も増えつつある。

今後、生産者の中で新市場開拓の取組の意向があれば、畑作物産地形成促進事業等も活用しながら推進していく。

また、水稻を含め、飼料用米・米粉用米・備蓄用米・WCS米などの新規需要米を作付体系に取り入れたブロックローテーションの確立や団地化に努め、併せて低コストの取組を実施することにより、農業経営費を縮減し、収益力の強化にもつなげたい。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在の当市の作付動向については、主食用米を中心とした水稻生産、麦・大豆・てん菜等の畑作生産、露地・施設の野菜生産（果樹、花きを含める。）、デントコーンや子実用とうもろこし、牧草を中心とした有畜農家の粗飼料作物生産の4つに大分され、概ね4つの作付形態の複合体を含めて市内の営農形態をほぼ網羅できるが、あくまでも生産者の経営指針や需要に応じた生産という大前提がある。畑地化については、生産者の希望や経営指針、各土地改良区を交えた地域での話し合い等繰返し議論を重ねた上で、慎重に判断していきたい。

今後の輪作体系（ブロックローテーション）については、主食用米、麦、大豆、てん菜、地力増進作物という畑作体系に水稻を組み込みつつ、生産者の要望や実需の動向に注視しながら、推進していきたい。

また、長期間、畑作物のみを生産し続けている水田については、水稻を含めた輪作体系を推奨するが、適宜、現地確認を行い、今後の営農形態などの状況および将来を把握し、また、必要に応じて生産者と話し合いも行い、畑地化支援について助言をする。

4 作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

主食用米は、生産数量目標に沿った作付面積を確保していたが、平成30年度からは、北海道の生産の目安に配慮しながら、需要に応じた主食用米の生産数量の確保を目指しており、今後の需給バランスや市場価格等を加味しながら、他作物等への転換および非主食用米の拡大について細心の注意を払い消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

（２）備蓄用米

非主食用米の一用途として、買入入札における優先枠を最大限活用し、ホクレン農業協同組合連合会と協議しながら、備蓄用米による安定的な所得確保に向けた取組を推進する。

（３）非主食用米

ア 飼料用米

水稻作付面積の確保のため新規の需要がある場合は柔軟に対応していきたい。さらに、多収性専用品種の導入についても推進していく。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては、導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、加工用米との交付単価を比較しながら、需要に応じて、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

イ 米粉用米

米粉用米は、新規の要望等があれば柔軟に対応していきたい。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては、導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

ウ WCS 米

一定程度の需要もあるため需給バランスに注意をしながら作付をしていく。出荷先については、酪農・肉牛生産者や商社が主となるが市内には、酪農・肉牛生産者も多いことから、有畜農家が供給先の一つとして十分な候補になると思われる。

エ 加工用米

冷凍食品等の米の加工用事業者から、ホクレン農業協同組合連合会を通しての需要があり、生産者の希望に応じて、取組を実施する。今後も需要に応じて国からの面積払や北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

オ 新市場開拓用米

地域の商社を通じての需要があり、生産者の希望に応じて取組を実施する。今後も、需要に応じて国からの産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

(4) 麦、大豆、てん菜、小豆、飼料作物

麦、大豆について、国の増産意向に基づき、今後、作付面積が増加する見込みである。ただし、過去の麦の病気の問題から連作を回避し、畑作物で適正な輪作体系の構築に向けた取り組みの推進を行っていく必要がある。

また、麦、大豆、てん菜及び小豆については、これまでどおり施肥設計書及び湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）に基づき、優良品種への転換、湿害対策の実施や機械等の導入による省力化を併せて進めていく。

飼料作物については、麦、大豆、てん菜及び小豆と同様、施肥設計書に基づき、品質及び生産性の向上を図ることはもちろん、永年性牧草については高位草地への転換を通じて、良質な粗飼料生産を図る。また、子実用とうもろこしについても輪作可能な作物として、輪作体系へ取り入れ引き続き支援する。

(5) 子実用とうもろこし

子実用とうもろこしは、適正な輪作体系確保のために、積極的に導入が開始されている。輪作体系へ組みこむことにより、圃場の排水性改善、連作障害の回避などが期待されることから、品質の向上に寄与するよう推進していくとともに、適正な施肥管理設計書及び湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）の実施による対策を推進し、生産性を向上し、作物の振興を図る。

(6) そば、なたね

そばは、契約栽培を基本に、適正な施肥設計書と湿害対策（心土破碎、たい肥施用、明暗渠施工等）の実施による排水対策を推進し、生産性向上を図る。

(7) 地力増進作物

地力増進作物の作付を行うことで、土壌病害の軽減や有害線虫が抑制され、作物の連作を回避し、病害の減少や安定供給・品質の向上が図られることから、通常の麦、大豆、野菜後の休耕だけではなく、水稻前後作の輪作体系への組み込みも行う地力増進作物に対しても支援する。対象とする地力増進作物は下記のとおりとする。

えん麦、とうもろこし、ソルガム、イタリアンライグラス、ギニアグラス、スーダングラス、アカクローバー、クリムソンクローバー、ベッチ類、ペルコ、カラシナ類、レバナ、はぜりそう、マリーゴールド、ひまわり、キガラシ、ステビア、なたね、ヘイオーツ、ライ麦、コスモス

(8) 高収益作物

野菜等の高収益作物については、市場出荷・直売所での販売を問わず、様々な種類の野菜等を生産している地域特性から、各作物の品質の向上に資するために適正な施肥設計書及び湿害対策に基づき、生産性を向上するよう推進していくとともに、地域の輪作体系の

一作として組み込まれる地域戦略作物として位置づけ、さらに近年市場等でのニーズが高い加工用・業務用野菜や輸出の取り組みに対しても支援する。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

9 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	807.69	－	922.95	－	805.80	－
備蓄用米	29.14	－	29.14	－	0.00	－
飼料用米	3.60	－	3.60	－	15.93	－
米粉用米	30.36	－	30.36	－	16.07	－
新市場開拓用米	1.57	－	1.57	－	1.98	－
WCS用稲	44.98	－	55.02	－	31.38	－
加工用米	5.72	－	5.72	－	5.49	－
麦	1,101.91	－	1044.46	－	1334.86	－
大豆	401.71	－	370.84	－	483.13	－
飼料作物	211.99	－	200.93	－	732.42	－
・子実用とうもろこし	20.95	－	19.85	－	21.56	－
そば	0.00	－	0.00	－	2.61	－
なたね	0.00	－	0.00	－	0.00	－
地力増進作物	37.18	－	35.25	－	30.10	－
高収益作物	429.20	－	427.29	－	672.58	－
・野菜	428.89	0	427.00	－	666.74	－
・花き・花木	0.31	－	0.29	－	1.08	－
・果樹	0.00	－	0.00	－	4.76	－
・その他の高収益作物	0.00	－	0.00	－	0.00	－
その他	220.97	－	198.89	－	319.20	－
・てん菜	89.63	－	84.96	－	170.78	－
・小豆	130.61	－	113.43	－	146.17	－
・その他菜豆	0.10	－	0.10	－	0.87	－
・薬草	0.63	－	0.40	－	1.38	－
畑地化	709.18	－	442.42	－	599.30	－

6 課題解決に向けた取組及び目標

【単位：a】

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	
				目標値	
1	飼料用米・米粉用米・WCS用 稲・加工用米・新市場開拓用 米・小麦・大豆・飼料作物・甜 菜・業務加工用野菜・野菜・薬 草・小豆・菜豆・花卉・花木・ 果樹・そば（全て種子を含む） （別紙参照）	土壌改良加算	土壌分析CEC(me値) CEC目標値達成戸数 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 51% (6年度) 202,162	(8年度) 27.50 (8年度) 70% (8年度) 307,100
2	甜菜・薬草（加工・業務 用） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 (甜菜・薬草)	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 8,205	(8年度) 27.50 (8年度) 12,000
3	野菜（加工・業務用含む） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 (野菜)	対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 43,893	(8年度) 61,500
4	小豆・菜豆・花卉・花木・ 果樹 全て種子含む（別紙参照）	地域振興作物助成	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 13,208	(8年度) 27.50 (8年度) 18,500
5	そば 種子含む（別紙参照）	そば作付助成	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 0	(8年度) 27.50 (8年度) 800
6	地力増進作物（1年緑肥） (別紙参照)	土づくり加算	対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 4,203	(8年度) 1,800
7	飼料用米・米粉用米・WCS用 稲・加工用米・小麦・大 豆・飼料作物（牧草を除 く）・甜菜・業務加工用野 菜・野菜・薬草・小豆・菜 豆（全て種子含む）（別紙 参照）	輪作加算（3年以上）	土壌分析CEC(me値) 3年輪作取組面積（a） 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 95,114 (6年度) 280,479	(8年度) 27.50 (8年度) 131,500 (8年度) 335,600
8	野菜・薬草 全て種子含む（別紙参照）	加工・業務用加算	土壌分析CEC(me値) 対象作物の作付面積 (a)	(6年度) 28.05 (6年度) 3,406	(8年度) 27.50 (8年度) 8,100
9	牧草・デントコーン (別紙で定める飼料作物)	耕畜連携助成 (資源循環)	対象作物の作付面積 (a) 資源循環の取組面積 (a)	(6年度) 66,236 (6年度) 5,501	(8年度) 82,700 (8年度) 19,100
10	飼料用米・米粉用米・WCS用 稲・加工用米・新市場開拓用 米・小麦・大豆・飼料作物（牧 草を除く）・甜菜・業務加工用 野菜・野菜・薬草・小豆・菜 豆・花卉・花木・果樹（全て種 子含む）（別紙参照）	転換作物拡大加算	転換面積（a）	(6年度) 4,276	(8年度) 3,500
11	飼料作物（永年性牧草に限 る）	永年性牧草生産性向上 助成	土壌分析CEC(me値) 作付面積（a） は種を行わず収穫を行 う面積（a）	(6年度) 28.05 (6年度) 58,674 (6年度) 13,937	(8年度) 27.50 (8年度) 74,300 (8年度) 43,200
12	新市場開拓用米（輸出用 米）	新市場開拓用米作付助 成	作付面積（a）	(6年度) 4	(7年度) 250
13	新市場開拓用米（輸出用 米）	新市場開拓用米複数年 契約助成	作付面積（a）	(6年度) 36	(8年度) 250

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:江別市地域農業再生協議会

新様式(公表用)

整理番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a) ※3	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土壌改良加算	1	3,700円/10a (上限5,000円/10a)	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・ 新市場開拓用米・小麦・大豆・飼料作物・甜 菜・加工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜 豆・花卉・花木・果樹・そば(全て種子を含む) (別紙参照)	①土壌診断(必須)に基づく施肥設計 ②下記の取組実施(1つ以上) ・湿害対策 ・土壌改良資材散布 ・カルシウム資材散布 ・堆肥散布(1t以上/10a) ・バイオガスプラント精製後の消化液散布 ・前緑肥作物の取入れ動きこみ
2	地域戦略作物助成(甜菜・薬草)	1	35,000円/10a (単価固定)	甜菜・薬草(加工・業務用含む) (全て種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②地域の輪作体系に組み込まれる作物で、出荷・販売を目的として作物生産
3	地域戦略作物助成(野菜)	1	35,000円/10a (単価固定)	野菜(加工・業務用含む)(全て種子含む) (別紙参照)	①助成対象作物を作付した生産者
4	地域振興作物助成	1	30,000円/10a (単価固定)	小豆・菜豆・花卉・花木・果樹(全て種子含む) (別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②出荷・販売を目的として作物生産
5	そば作付助成	1	20,000円/10a (単価固定)	そば(種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②播種前契約による出荷・販売
6	土づくり加算	1	20,000円/10a (単価固定)	地力増進作物(1年緑肥)(別紙参照)	1年休閑し緑肥作物を圃場へすき込む。
7	輪作加算(3年以上)	1	4,300円/10a以内	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・ 小麦・大豆・飼料作物(牧草を除く)・甜菜・加 工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆(全て 種子を含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②3年輪作の実施
8	加工・業務用加算	1	5,300円/10a以内	野菜・薬草(全て種子含む)(別紙参照)	①土壌改良加算の取組前提 ②播種・定植段階から、業務用・加工向けに作物生産 ③畑作物産地形成促進事業に採択された農地は対象外とする。
9	耕畜連携助成(資源循環)	3	12,100円/10a (単価固定)	牧草・デントコーン(別紙で定める飼料作物)	利用供給協定に基づき、耕畜農家が飼料作物を生産し、① わら利用②堆肥散布の取組が行われる場合に助成
10	転換作物拡大加算	1	8,700円/10a以内	飼料用米・WCS用稲・加工用米・新市場開拓 用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・薬草・野 菜(加工・業務用含む)・小豆・菜豆・花卉・花 木・果樹・そば(全て種子含む)(別紙参照)	①当該年度において、前年度主食用米を作付した圃場に対 象作物を作付けしている場合、その転換した面積に対して 助成
11	永年性牧草生産性向上助成	1	3,500円/10a (単価固定)	飼料作物(永年性牧草に限る) (戦略作物助成において、1.0万円/10aの対 象となる(播種を行わず収獲を行う)ほ場)	①土壌改良加算の取組前提 ②下記の取組を1つ以上 ・2番草の収獲又は放牧地における掃除刈 ・化学肥料の削減(施肥標準から3割以上の減) ・農薬使用量の削減(R6で農薬を使用している場合、R6か ら3割以上の減)
12	新市場開拓用米作付助成	1	20,000円/10a (単価固定)	新市場開拓用米(輸出用米)	①下記の取組を2つ以上 ・土壌分析結果に基づく施肥 ・明暗渠排水の整備 ・心土破碎、穿孔排水による透・排水性の改善(いずれか一 つ実施) ・ケイ酸資材の施用 ・温湯種子消毒の実施 ・融雪剤散布 ・収穫後の清切りによるほ場の乾燥化
13	新市場開拓用米複数年契約助成	1	10,000円/10a (単価固定)	新市場開拓用米(輸出用米)	①当年に新たに締結する契約であること。 ②当年産以降の連続した3年分を含む複数年契約であるこ と。 ③契約書において、各年産の契約数量及び契約価格(契約 価格の設定方法を含む)が明確に記載されており、かつ、 契約不履行に対する違約規定があること。 ④契約対象となる2年目以降の各年産の契約数量が、いず れも前年産の契約数量を下回らないこと。(＝契約数量が 契約期間中に維持または増加していること)。 ⑤不作時における契約数量の調整規定があること。 ⑥コメ新市場開拓等促進事業で採択されていること。

※1 ニ毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、ニ毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(ニ毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、ニ毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携でニ毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・ニ毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、ニ毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携でニ毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区 分	
1	小麦 (種子用小麦含む)
2	てん菜 (食用ビート含む)
3	豆類
4	大豆
5	小豆
6	菜豆 (いんげん)
7	えんどう
8	黒大豆
9	野菜
10	あさつき
11	明日葉
12	味美菜
13	アスパラガス (グリーン)
14	アスパラガス (ホワイト)
15	アスパラガス (紫)
16	アビオス
17	いちご
18	いんげん
19	うど
20	うり
21	エゴマ
22	えだまめ
23	大麦 (若葉収穫用に限る)
24	オクラ
25	カイラン
26	かいわれだいこん
27	かぶ
28	かぼちゃ
29	カリフラワー
30	かんしょ
31	菊菜
32	きのこ
33	キャベツ
34	きゅうり
35	ぎょうじゃにんにく
36	クレソン
37	くわい
38	ケール
39	ゴーヤ
40	ごごみ
41	ごぼう
42	こまつな
43	こもちかんらん
44	こんにゃく
45	ささげ
46	さつまいも
47	さといも
48	サニーレタス
49	さやいんげん
50	さやえんどう
51	サラダ菜
52	サンチュ
53	ししとう
54	しそ
55	しゅんぎく
56	じゅんさい
57	しょうが
58	食用キク
59	食用ハーブ
60	食用ゆり(ゆりね)
61	シロウリ
62	しろ菜
63	スイートコーン
64	すいか
65	ズッキーニ
66	スナップエンドウ
67	せり
68	セルリー
69	ぜんまい
70	そらまめ
71	ソルトリーフ
72	タアサイ
73	ばれいしょ
74	だいこん
75	たいな
76	たまねぎ
77	たらの芽
78	チコリ
79	ちんげんさい
80	テンダーボール (花ニラ)
81	とうがらし
82	冬瓜
83	トマト
	ながいも
	なす

区 分	
83	野菜
84	なた豆
85	なんばん
86	にがうり
87	にら
88	にんじん
89	にんにく
90	にんにくの芽
91	ねぎ
92	野沢菜
93	はくさい
94	パクチー
95	パセリ
96	花みょうが
97	パプリカ
98	はまほうふう
99	ピーマン
100	広島菜
101	フロッコリー
102	ベビーリーフ
103	ほうれんそう
104	まくわうり (カンロ)
105	美えんどう (グリーンピース)
106	みずな
107	水わさび
108	みつば
109	実取りカラシ
110	ミニかぼちゃ
111	ミニトマト
112	みぶ菜
113	みょうが
114	メロン
115	モロヘイヤ
116	ヤーコン
117	山ごぼう
118	大和芋
119	やまのいも
120	山わさび
121	ゆりね
122	落花生
123	らっきょう
124	ラディッシュ
125	リーキ (ボワロ)
126	ルッコラ
127	ルバーブ
128	レタス
129	れんこん
130	わさび
131	わさびだいこん
132	葉花
133	ビーツ
134	コリアンダー
	ワキシコーン (もちトウモロコシ)
135	花き
136	アイリス
137	アゲラタム
138	アザミ
139	アジサイ (切枝)
140	アスクレピアス
141	アスター
142	アステルベ
143	アストランチャ
144	アスパラガス (観賞用)
145	アトランティアマヨール
146	アナベル (切枝)
147	アネモネ
148	アマランサス
149	アリウム
150	アリストロメリア
151	アルケミラ
152	アルプカ
153	アロニア (切枝)
154	イキシア
155	イタリアンルスカス
156	インパチェンス
157	ウイキョウ
	ウインターグラジオラス

別紙

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区 分	
158	花き
159	うばゆり(ユリ科)
160	ウメモドキ(切枝)
161	エキノブシ
162	エボタ
163	エリンジウム
164	エレムルス
165	オオデマリ(切枝)
166	オーニソガラム
167	オダマキ
168	オレガノ
169	カーネーション
170	ガーベラ
171	カキツバタ
172	カスミソウ
173	かぼちゃ(観賞用)
174	ガマ(ガマ科)
175	カラー
176	カンゾウ
177	カンパニュラ
178	きいちご(観賞用)(切枝)
179	ギガンジウム
180	キク
181	菊アスター(キク科)
182	切葉類
183	キャラウェイ
184	キャンディタフト
185	金風車(キク科)
186	きんぎょそう
187	クジャクソウ
188	グラジオラス
189	グラスベディ
190	クリスマスローズ
191	クレマチス
192	グロリオサ
193	けいとう
194	小菊
195	コスモス
196	コティナス
197	コデチャ
198	コデマリ
199	コウニー(ユリ科)
200	サイネリア
201	サクラ(切枝)
202	桜小町
203	サクラソウ
204	サリクトラム
205	サンダーソニア
206	シオン(キク科)
207	シクラメン
208	ジニア
209	シモツケ
210	シャクヤク
211	宿根デージー
212	ショウブ
213	シレネ
214	白妙菊
215	シンフォリカルフォス(切枝)
216	スイートピー
217	スイセン
218	スカビオサ
219	スキミア
220	スズメウリ
221	スズラン
222	スターチス
223	スタキス
224	スティバ
225	ストック
226	ストロベリーコーン
227	ストロベリースティック
228	スナッブ
229	スノーボール(切枝)
230	スピードリオン
231	スモークグラス
232	スモークツリー(切枝)
233	スモグソウ
234	セダム
235	セファロフロア(加工用)
236	ゼラニウム
237	セロシオ
238	セントーレアオリエンタリス

区 分	
238	花き
239	千日紅
240	センニチソウ
241	ソリダコタラ
242	ソリダスター
243	ダイアンサス
244	大根草
245	ダスティーミラー
246	ダリア
247	チューリップ
248	チョコレートコスモス
249	ツルウメモドキ(切枝)
250	てまり草
251	デマリシモツケ
252	デルフィニウム
253	とうがらし(観賞用)
254	トリカブト
255	トリトマ
256	トルコギキョウ
257	トロリウス
258	ナス(観賞用)
259	ナスタチウム
260	ナデシコ
261	ナナカマド(切枝)
262	ナルコユリ
263	ニゲラ
264	ネマヘラソウ
265	ネムリヒメ(アヤメ科)
266	ネリネ
267	バイカウツギ(切枝)
268	ハス
269	とうきび(観賞用)
270	ハナナス
271	パニカム
272	バブチシア
273	ハボタン
274	バラ
275	バラ実もの(切枝)
276	パンジー
277	ビオラ
278	ビブルナム
279	ヒペリカム(切枝)
280	ヒマワリ
281	ヒメヒコダイ
282	ヒメヒマワリ
283	ヒヤクニチソウ
284	ピンピネラ
285	フェネル
286	フサスグリ(切枝)
287	ふじなでしこ
288	フジバカマ
289	フッチーニ(ウリ科)
290	フプレウルム
291	フリージア
292	フルースター
293	ブルースプレー
294	フルビネラ
295	フロックス
296	ペコニア
297	ベチュニア
298	ベニバナ(カルタムス)
299	ヘリクリサム
300	ヘレニューム
301	ペロニカ
302	ポインセチア
303	ホオズキ
304	ボタン
305	ホトトギス
306	マーガレット
307	マトリカリア
308	マンサク
309	ミズヒキ
310	ミナズキ(切枝)
311	ムギ(観賞用)
312	ムスカリ
313	紫式部(切枝)
314	メノプシス
315	メロン(観賞用)
316	モナルダ
317	モルセラ
318	ヤマゴボウ

江別市地域農業再生協議会

産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

区		分	
318	花き	ヤナギ（切枝）	
319		山ブドウ（ブドウ科）	
320		ユーカリ	
321		ユーストマ	
322		ユーバトリウム	
323		ユーホルビア	
324		ユキヤナギ（バラ科）	
325		ユリ	
326		洋ラン類	
327		ラークスパー	
328		ライラック（切枝）	
329		ラナンキュラス	
330		ラベンダー	
331		ラムズイヤー	
332		リアトリス	
333		リナリア	
334		リオン	
335		リシマキア	
336		リンゴ（観賞用）（切枝）	
337		リンドウ	
338		ルドベキア	
339		ルリタマアザミ	
340		レースフラワー	
341		ローズマリー	
342	ロマネスコ		
343	ワレモコウ		
344	利休草		
345	果樹（小果樹）	ブルーベリー	
346		ハスカップ	
347		もも	
348		リンゴ	
349	地力増進作物	えん麦	
350		とうもろこし	
351		ソルガム	
352		イタリアンライグラス	
353		ギニアグラス	
354		スーダングラス	
355		アカクローバー	
356		アルサイククローバー	
357		クリムソククローバー	
358		ベッチ類	
359		ベルコ	
360		カラシナ類	
361		レバナ	
362		はぜりそう	
363		マリーゴールド	
364		ひまわり	
365		キガラシ	
366		ステビア	
367		ナタネ	
368		ハイオーツ	
369		ライ麦	
370		コスモス	
371			
372		花木	花木 （観賞用 樹木）
373	アナベル		
374	アロニア		
375	イチイ		
376	ウメモドキ		
377	エニシダ		
378	オオデマリ		
379	カイヅカイブキ		
380	かえで		
381	カリンス		
382	きいちご（観賞用）		
383	金宝樹		
384	コティナス		
385	サクラ		
386	サツキ		
387	サンゴミズキ		
388	シキンカラマツ		
389	シンフォリカルボス		
390	スノーボール		
391	ツゲ系		
392	ツツジ		
393	ナナカマド		

区 分			
394	花木	バラ実もの	
395		ヒバ系	
396		ヒベリカム	
397		ブルーベリー（観賞用）	
398		マンサク	
399		ミナズキ	
400		モミジ	
401	ユーカリ		
402	ライラック		
403	その他作物	アナベル	
404		アロニア	
405		ウメモドキ	
406		オオデマリ	
407		きいちご（観賞用）	
408		サクラ	
409		シンフォリカルポス	
410		スノーボール	
411		スモークツリー	
412		ツルウメモドキ	
413		ナナカマド	
414		バラ実もの	
415		ヒベリカム	
416		フサスグリ	
417		ミナズキ	
418		紫式部	
419		ヤナギ	
420		ユキヤナギ	
421		ライラック	
422		ライラック	
423		リンゴ	
424		苗もの	野菜苗
425			花壇苗
426	果樹苗		
427	薬草 牧草	苗木	
428			
429	飼料作物	オーチャードグラス	
430		チモシー	
431		イタリアンライグラス	
432		ペレニアルライグラス	
433		トールフェスク	
434		メドーフェクス	
435		フェストロリウム	
436		ケンタッキーブルーグラス	
437		リードカナリーグラス	
438		バヒアグラス	
439		ギニアグラス	
440		カラードギニアグラス	
441		アラファルファ	
442		オオクサキビ	
443		アカクローバ	
444		シロクローバ	
445		ローズグラス	
446		バラグラス	
447		パンゴラグラス	
448		ネピアグラス	
449		ハイブリッドライグラス	
450		スミズプロムグラス	
451		アルサイククローバ	
452		ガレガ	
453		セタリア	
454		デントコーン	
455		その他	青刈り麦
456			青刈りとうもろこし
457			青刈りソルガム
458			テオシント
459			スーダングラス
460			青刈り大豆
461			子実用えん麦
462	子実用とうもろこし		
463	青刈りひえ		
464	しこくひえ		
465	飼料用かぶ		
466	飼料用ビート		
467	飼料用しば		
468	加工用米	加工用として作付・生産・販売を行うもの	
469	新規需要米	米粉用として作付・生産・販売を行うもの	
470		飼料用として作付・生産・販売を行うもの	
471	WCS用稲	輸出用として作付・生産・販売を行うもの	
472		飼料用として作付・生産・販売を行うもの	